# ホッコリむらの
# としがみさま

ポンタは、ホッコリむらにすむ　おとこのこ。
たべることが　だいすき。
りんご、ぶどう、なし・・・
ホッコリむらでは、ことしも　おいしい　くだものが　たくさん
とれました。

さて、ことしも あとすこしでおわりというころ
ママは なにやら だいどころで おおいそがし。
「うわあ〜… すごい ごちそう！！」
「おせちよ。もうすぐ おしょうがつだもの。
としがみさまを おもてなしする じゅんびをしなくちゃ
「ええっ としがみさま だって？」

「そうよ、としがみさまは みんなをしあわせにする
かみさまなの。ホッコリむらで おいしいくだものがとれる
のも としがみさまのおかげなのよ」
「へえ〜、おしょうがつには そのとしがみさまがうちにも
きてくれるの！？」
「ええ、きっときてくださるわ」

ギコ　ギコ　ギコ・・・
そとでは パパも おおいそがし。
「たけで なにをつくるの？」
「かどまつをつくるんだよ、これをめじるしにして
　としがみさまがきてくださるんだ」
「ぼくも てつだう！」
　それから ポンタは パパといっしょに おかざりづくり。

「やったあ！　かんせい！！
　これで、としがみさまも　まよわないね！」

さあ　いよいよあしたは おしょうがつ
としがみさまを おむかえするひです。
ドキ　ドキ　ドキ　・・・

ポンタは なかなかねむれません。
「としがみさま、ほんとうに きてくれるかなあ。
でも としがみさまって いったい
どんなかみさまなんだろう・・・」

もしも・・・

もしも、きょじんみたいなかみさまだったら
どうしよう・・・

「やぁ　ポンタ　せっかくきたんだが、
このいえはちいさくて　はいれないなぁ・・・」

もしも・・・

ピカピカッ ドーン!!

「ぎゃ〜っ いた〜い！」

もしも・・・

もしも、まじょみたいなかみさまだったったら どうしよう・・・

「ひっひっひ・・・　どうだい、わたしの まほうは」

もしも　ものすごく　くいしんぼうなかみさまだったら
どうしよう・・・

「やいっ　ポンタ！　おせちはもうないのか！！
ようし、それならおまえをくってやる！」

「いやだーっ！た、たすけてぇー！」

もしも・・・もしも・・・

「うわあ～、きれい・・・」
まどのそとには　にじいろのたいよう

そのとき　たいよう　の　なかから・・・

「う～ん・・・」

まぶしいひかりをかんじ
ポンタはめをさましました。

「ゆめかぁ、よかったあ・・・
あっ　そうだ！　きょうはおしょうがつだ！」

ふわ
ふわ
ふわ〜っ

「あけましておめでとう、ポンタ」

「ああっ　としがみさま！！」

としがみさまは、やまのうえから
ゆらりゆらりとホッコリむらのほうへ
やってきました。
その　おかおは　やさしくて
どこかてんごくのおじいちゃんににていました。

「あけまして おめでとう！！」
さあ、おしょうがつのはじまりです。
ママとくせいの おせち、あったかい おぞうに
「もぐもぐ、むしゃむしゃ・・・ おいしいなあ！！」
かぞくみんな にこにこ えがお
しあわせいっぱい おしょうがつ

ホッコリむらでは、もちろん そのとしも
たくさんのくだものが とれたそうです。